



# 東京理科大 学報

TOKYO  
UNIVERSITY OF  
SCIENCE

2022.January  
Vol.  
224

T U S Journal



ずっと  
元気を  
探そう。

# 2022 NEW YEARS

石川学長 就任の挨拶

科学技術の知見を用いて、  
社会での価値創造を  
担える人材を育成する。



2022年の年頭にあたり、謹んで  
新春のお慶びを申し上げます。本年1月  
1日付けて、東京理科大学 学長を拝命  
しました石川正俊です。本学は日本に  
おける私学随一の理工系総合大学とし  
て、教員の高度な研究力や特色ある教  
育プログラム、国内外の他大学・研究機  
関との連携など、学びの基盤が大変強  
固です。その運営を担うことは非常に  
光栄であるとともに、責任の重さも自  
覚しています。

近年は、大学を取り巻く環境変化の  
スピードが加速しています。この急激な  
変化に対応できる力となるのも、先ほ  
ど触れました本学の運営基盤だと思っ  
ています。創立以来140年間で形成さ  
れたこの基盤をさらに磨き上げること  
で、世の中の変化を牽引するような新し  
い価値を、この東京理科大学から創出し  
ていけると確信しています。そして私の  
使命は、「理学の普及を以て国運発展の  
基礎とする」という建学の精神を現代  
的に解釈し、これから社会に合致した

新たな施策を立案・推進することだと認  
識しています。  
科学技術の知見を用いて、社会での価  
値創造を担える人材を育成するために、  
まず世の中の変化や研究分野の進展・  
融合に合わせて、個々の学生がキャリア  
プランを自ら設計することを前提とし  
て、学生・研究者が最初の専攻学科  
で一つの分野を究めると同時に、隣接  
する複数の分野への移行を容易にし、  
既存の垣根を越えて自らが変わつてい  
けるカリキュラムや制度が重要です。そ  
のために基礎教育の中身をバージョン  
アップするとともに、専門教育に関して  
も隣接分野の学問を深掘りできる実力  
を養成していきます。

加えて、以下に述べます二つの観点  
に立って、今の時代に即し、かつ未来を  
拓く実力に直結する研究活動を強力に  
推進します。一つは理学の基本を深  
掘りしながら、与えられたテーマを解  
いていく「問題解決型の研究」です。もう

一つは、「こんなモノやサービスがあ  
れば、世の中はもっとおもしろくなるの  
では?」という着想から始まる研究、い  
わば「まだ見ぬ価値の創造」です。研究活  
動の過程では、さまざまなチャネルを  
通して、社会からの評価を効果的に取  
り込む仕組みを導入します。学外からの  
リアルな反応は、本学が次に開拓すべき  
技術分野や、研究対象の潜在的な価値を  
見出す原動力になるはずです。この二点  
を一体として捉え、双方を往来するよう  
な研究活動を、これからスタンダード  
にしていきます。2031年の本学の姿  
と方向性を定めた「TUS VISION  
150」をゴールとした5年間の「中期  
計画(2022~2026年度)」の策定  
にも前述の教育モデルと研究方針を  
組み入れ実行していく考えです。  
引き続き、皆さまのご支援とご協力を  
賜りますようお願い申し上げます。

学長 石川 正俊

新年あけましておめでとうございます。  
皆さまにおかれましては、健やかに  
新しい年をお迎えのこととお慶び申し  
上げます。

昨年4月に役員の改選が行われ、新た  
なメンバーを迎えた理事会が始動いた  
しました。理事会の責務は財務・施設を  
はじめとする本学の活動の基盤を盤石  
なものとし、学長室を中心として展開さ  
れる本学の教育・研究を支えていくこと  
であります。今後も新体制で本学のさら  
なる発展を目指して全力で取り組ん  
で参ります。

本期の理事会の発足にあたり、理事会  
ではこれから本学が目指す大学像を改  
めて定義し、「世界の理科大」「愛校心  
誇りを抱ける大学」を掲げました。現在、  
2022年度から5年間の新しい中期  
計画を策定しており、マイリストーンを設  
定して着実に歩みを進めて参る所存です、  
全学的な学部・学科再編に併せて、

かねてより進めて参りました各キャン  
パスの再構築は、それぞれの地域性、  
特色を生かしながら進展しています。  
7号館(NRC)、新実験棟が完成した  
野田キャンパスに続き、葛飾キャンパス  
でも2024年度中の完成を目指して  
昨年6月から新棟の建設工事が始まっ  
ています。今年はそれに先立ち、神楽坂  
キャンパスに移転し、工学部全5学科が  
葛飾キャンパスに結集いたします。そ  
後には、神楽坂キャンパスの再構築も控  
えています。

また、これと併せて、IT基盤を統合  
的に整備することにより、時間や場所に  
捉われない教育研究をサポートするデ  
ジタル環境への転換を図って参ります。  
一連の取り組みを通して、ポストコロナ時代  
に合わせたキャンパスのDX(デジタル  
トランスフォーメーション)化、スマート  
キャンパス化を強力に推進いたします。

この1月から、東京大学で理事・副学  
長・研究科長といった要職を歴任されて  
きた石川正俊先生を学長としてお迎え  
いたしました。石川学長は、1949年に  
新制大学・東京理科大学の初代学長と  
なった本多光太郎先生から数えて11代目  
の学長となります。

理事会・学長室、とともに新しい体制と  
なって迎える2022年は、本学が創設  
150周年を迎える2031年、さらに  
その先の将来に向けた新しい始まりの1  
年となります。新たな学長室と私たち理  
事会でしっかりとタッグを組み、大学改  
革を進めて参りますので、関係各位のご  
ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご多幸  
とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせて  
いただきます。

理事長 浜本 隆之

# MESSAGE

浜本理事長 年頭の挨拶  
新体制の理事会・学長室が  
「丸となり、「世界の理科大」  
「誇りを抱ける大学」へ。



石川 正俊 Masatoshi Ishikawa

1954年生まれ。1977年東京大学工学部計数工学科  
卒業。1979年東京大学大学院工学系研究科計数工  
学専門課程修士課程修了。1988年工学博士(東京  
大学)。1979年通商産業省工業技術院製品科学研究  
所研究員、1989年東京大学工学部計数工学科助教授、  
その後、東京大学大学院教授、東京大学総長特任  
補佐、東京大学副学長、東京大学理事等を経て、  
2020年東京大学情報基盤センターデータ科学研究  
部門特任教授、東京大学名譽教授。2022年、東京  
理科大学 第11代学長に就任。2011年紫綬褒章、  
その他国内外にて多数受賞。

## 特集 研究最前線

脳のこれから。  
薬のこれから。

人はゲンキでいることがいちばん。

ゲンキだからこそ、

仕事や勉強や研究に打ち込んだり

スポーツもできる、遊ぶこともできる。

世の中では持続可能な社会の実現に

向けた活動が活発だ。

つまりそれは、人間のゲンキが

ますます重要になってくるということ。

そこで、今回はそのために欠かせない

脳と薬の研究にスポットを当てて、

その最前線に迫ります。

ずっと  
ゲンキを  
採そう。



## 1 2022 NEW YEAR'S MESSAGE

学長 石川 正俊 就任の挨拶  
理事長 浜本 隆之 年頭の挨拶

## 3 特集 研究最前線

脳のこれから。薬のこれから。

## 5 脳のこれから。

理工学部 機械工学科 竹村 裕 教授  
先進工学部 生命システム工学科 濑木 恵里 教授

## 7 薬のこれから。

薬学部 薬学科 青山 隆夫 教授  
薬学部 薬学科 小茂田 昌代 嘱託教授

## 9 Labo Scope

## 10 理大人

## 11 STUDENT LABO

## 12 STUDENT ACTIVITY

## 13 TOPICS &amp; INFORMATION

## 物華天宝

Science+「共感」で望ましい人間社会の実現へ

ご存じのように本学は、科学技術をベースにして社会における諸問題の解決に貢献することを、その使命としています。ところで、先の見えない不安定な現代社会は、正解があるかどうか分からぬい、あったとしても一つとは限らない、いわゆる「やっかいな問題」に溢れています。では、科学技術をベースにしてこのような「やっかいな問題」に立ち向かうには、どうすればよいでしょう？国際デザイン経営学科(IDM)におけるテーマの一つである「デザイン思考」は、(潜在的な)ユーザに対する「共感」によって課題を明らかにすることを、一つの特徴としています。「共感」は英語ではempathyですが、「自分事として捉える」ということで、ラトガース大学のダニエル・ゴールマンは、「他者に関心を持つこと」がその土台となるとしています。「天に隠されている宝を探し出す」ことによって得られた科学技術の成果を、世界・人類に役立て、望ましい人間社会を実現するためには、この「共感」が必要であり、そのためには、まず「他者に関心を持つこと」であると私たちを考えています。

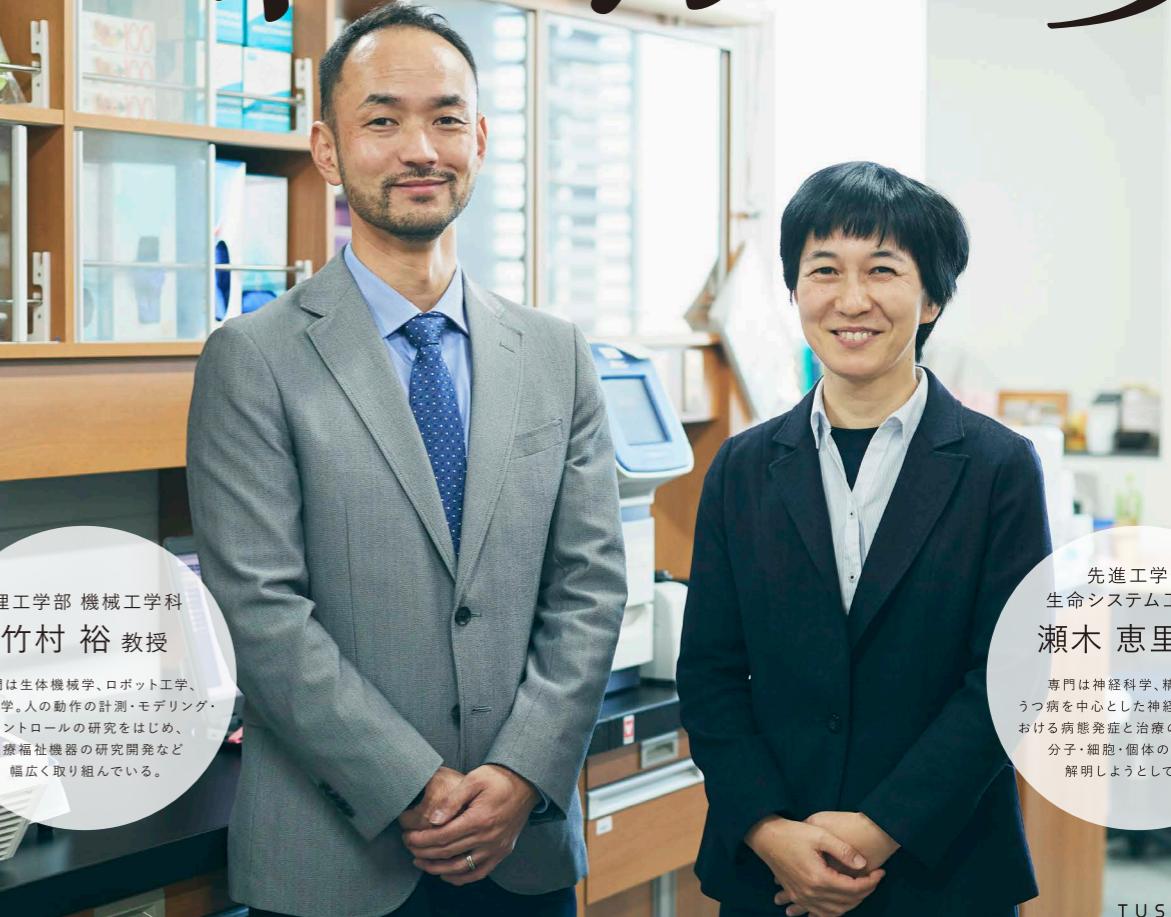
経営学部 国際デザイン経営学科 飯島 淳一



3 すべての人に  
健康と福祉を



今回の「特集」は、持続可能な開発目標(SDGs)  
「すべての人に健康と福祉を」の関連研究です。



理工学部 機械工学科  
竹村 裕 教授

専門は生体機械学、ロボット工学、情報工学。人の動作の計測・モデリング、コントロールの研究をはじめ、医療福祉機器の研究開発など幅広く取り組んでいる。

先進工学部  
生命システム工学科  
瀬木 恵里 教授

専門は神経科学、精神薬理。うつ病を中心とした神経・精神疾患における病態発症と治療のプロセスを、分子・細胞・個体の観点から解明しようとしている。

複数個体の  
脳活動に注目し、  
集団形成のプロセス  
を明らかにする。

複数の個体の脳を同期計測する  
新しい学問分野パラレル脳を創生。



特定の遺伝子を増幅して、その発現量を測定するPCR解析装置。

人間が社会的な生き物であることは言うまでもないが、それはどうしてなのかを明確に答えるのは難しい。その仕組みを明らかにしようというのが、パラレル脳センシング技術研究部門の目的である。つまり、複数個体の脳活動に注目し、集団形成プロセスにおいてどのように相互作用するのかを明らかにしようというのだ。竹村教授は言う

「うまく集団をつくれる人とつくれない人がいます。オンラインで遠隔授業をしている場合、うまく適応できる人とできない人がいます。何が違うのか。複数脳が共同する場面を一つのモデルとして研究し、そこから脳の解明につなげていきたいと考えています」。具体的には、複数の人に脳波や脳活動を測るセンサーをつけてデータを取り、そこから得られた仮説を基にしてネズミなどの動物実験でさらに確かめていく。

精神疾患の研究などを推進し、  
共感脳の分子メカニズムを解明。

研究部門では最終的に向けて多くの研究が進んでいるが、自閉スペクトラム症(ASD)などの発達性の疾患の研究もその一つだ。ASDは他者との共感・社会行動に障害があるとされているが、不明な点が多

い。ASDの危険因子として染色体3p26の遺伝子欠失が示唆されている。その欠失の影響について、社会行動を含む行動的

表現系、神経発達変化、遺伝子発現変化を解析することで病態メカニズムの解明を目指している。瀬木教授は言う「ASDの人は、人と人とのやりとりがすごく難しいということが分かっています。つまりそこで問題になっている遺伝子が、社会行動にとって重要だ」ということが疾患の研究から分かってきます」。竹村教授による「一方で、ASD傾向の高い人の行動を調べてみると、それ違うときに、ぎりぎりまで近づいてきて直前で避けるという行動になります。それ違い行動を模した状態のときに脳の働きをセンシングしてみると、脳のある部分の反応が遅くてそれが原因で近づいて急に避けるということになっていると分かります。そうすると、今度は動物実験でその脳の働きを詳しく調べていけるというわけです」。そうしたさまざまな研究を結集することでの、脳の共感メカニズムの分子メカニズム解明に近づけるというわけだ。

脳の問題である可能性が高い。誰もが健生き続けられる持続可能な社会を目指す上で、その解明は不可欠だ。また、脳の解明は健康面だけにとどまらない。広がり続けるネット社会において、オンライン空間での集団形成や共生の支援も脳を理解することで可能になる。コロナ禍で活用の進んだリモート教育をより充実させていくためにも必要なことだ。さらに、脳とテクノロジーを組み合わせたブレインティングにも注目が集まっている。脳科学を活用したサービス、新しいデバイス開発への投資は増え続けるばかりだ。「脳と機械の親和性が高くなりつつあるのが今」という時代です。脳神経の研究者と機械やロボットの研究者が一緒に新しいことを考えるのは、とても自然な流れではないでしょうか」と瀬木教授。脳の研究は難しく「リケートなものであることは間違いないが、同時に、私たちをワクワクさせてくれるものもあるようだ。



超音波で計測した体内的様子。  
研究室には多くのセンサー機器が揃っている。

WHO(世界保健機関)は、2030年に健康な生活に影響を与える疾病的第1位になると予想している。精神疾患が今後ますます大きな社会問題になっていくことは間違いないだろう。精神疾患とは、遺伝子や神経なども含めた

06 TUS Journal



人工知能（AI）技術を用いて、無線ネットワークを最適化。  
5G、6G、IoTの通信をより快適に。



工学部 電気工学科

長谷川 幹雄 教授

mikio hasegawa

## PROFILE

1995年東京理科大学基礎工学部電子応用工学科卒業、2000年東京理科大学基礎工学研究科電子応用工学専攻博士課程修了。情報通信研究機構等を経て、2007年より東京理科大学工学部第一部電気工学科勤務。2015年より現職。研究分野は、計算科学および通信・ネットワーク工学。

我々が身体を動かす際、脳内の神経細胞（ニューロン）から身体中の神経を伝って指令が送られている。この神経回路伝達を数式的なモデルで表現したものをニューラルネットワークといい、そのアルゴリズムはAI技術にも用いられている。実は、長谷川教授はかつて、このニューラルネットワークの数式モデルの研究をしていました。その後の研究機関で、無線通信に携わった経験から、今は、無線通信にAI技術を掛け合わせた研究に取り組んでいる。無線通信には、5GやWi-Fi、GPSなど、さまざまなシステムがあり、それぞれ異なる周波数を利用することで互いに干渉することを抑えている。しかし、電波の周波数は自然界における有限の資源。だからこそ効率的に利用することが求められる。「無線チャンネルの選択／通信方式の選択／送信電力の選択などをAIを応用して最適化

## 無線通信システムの未来を構築。

## Pick Up!

電波を発生させる際は、このBOXの中に入れて実験が行われる。

することで、より高速で大容量の無線通信を実現していきたい」と教授。例えば、近年よく聞くIoT。家電や家など、モノがインターネットで通信することだが、これから先、IoTデバイスが増えれば増えるほど、電波干渉やパケット衝突が起る可能性が高まる。そこで長谷川教授は、IoTがAIを活用し自ら最適な無線通信の接続先を選ぶ技術を開発。また、狭いエリアにIoTが密集した場合でも、快適な通信を可能にする超高密度通信など、新しい方式についても研究を進めている。「既にいろいろな場面で採用されているIoTセンサーは、低電力で情報も送れる。より多くの情報が集まれば、エネルギーの制御にも役立ち、結果的に省エネや再生可能エネルギーの効率利用にもつながるのではないか」と期待を語る。また、長谷川研究室は、本学のスペースシステム創造研究センターと連携した研究が幅広く行われている。他にも、量子コンピューターの最適化やレーザーカオス高速強化学習等、国内外のさまざまな研究機関との共同研究の良さ」と教授。目には見えない通信の世界で、大きな革新をたらしてくれることを期待したい。

# 理大人

## RIDAI HITO

遠藤由佳子さん

気象予報士



気象予報士として、正確な情報と正しい知識を発信していくことで、人々の防災意識を高めたい。

わずか4・2%、これは、昨夏の気象予報士試験の合格率だ。遠藤さんは、この超難関試験を突破し、気象予報士となつた。大学卒業後は、NHKの千葉放送局でキャスターとして勤務。テレビやラジオを通して、さまざまな情報を発信していた。また、アナウンス業務の他にも、企画や取材、編集など、制作業務にも携わっていたという。2021年には、晴れて気象予報士の資格を取得。今後は、気象予報士として、天気のことだけでなく、防災情報も伝えていきたいと考えている。「そもそも、気象予報士を目指していたこともそうですが、2019年に台風が房総半島を襲ったことも、資格取得へ年の思いを強めました。あの台風では、亡くなつた方も多く、家屋の倒壊など、千葉県の被害は甚大で、改めて災害報道の大切さを実感しました。そのとき、自分の言葉で、より正確に気象状況や防災情報を伝えていきたいという思

いが強まりました」と遠藤さん。現在は、気象予報士として実際に世の中に発信するための研修を行っているという。また、そもそももキャスターや気象予報士に興味を持った理由として、伊豆大島の観光大使を務めた経験も大きいそうだ。観光大使を務めた経験も大きいままで、遠藤さんが大使を務めたり、自然を愛する遠藤さんだかるこそ、自然の恐ろしさも正確に伝えたいという気持ちがあるの

いそうだ。観光大使といえば、特産品やその土地のPRが主たる活動だが、遠藤さんが大使を務めていたその年は、伊豆大島を大き

な台風が直撃、各地で土砂災害などが発生した。遠藤さんも大使として、被害の様子を伝え、復興のための支援の呼びかけなどを行っていたという。大学では、橋梁研究室に所属し、島根県の豪雨災害の特性などを研究。「積乱雲の発達の仕組みや雨による地層への影響など、土木工学の研究室で学んできた知識も、今後に生かしていくたらと思います」。

忙しい報道の世界に身を置いてきた遠藤さんが、以前は休日に

なると趣味の登山を楽しんでいたそうだ。しかも、白山やフィッツ

ーイーといった山で、これまでに登ったことがある。遠藤さんは、

「登山は、自然を愛する遠藤さんだかるこそ、自然の恐ろしさも正確に伝えたいという気持ちがあるの

いそうだ。観光大使といえば、特

産品やその土地のPRが主たる

活動だが、遠藤さんが大使を務めたり、自然を愛する遠藤さんだかるこそ、自然の恐ろしさも正確に伝えたいという気持ちがあるの

いそうだ。観光大使といえば、特

「2021ミス・ユニバース®ジャパン」でTOP12のファイナリストに選出。真の美しさと発信力を磨いた半年間。

理学部第一部 應用化学科 2年 田中 鈴奈さん

**切** れ長のクールな目元に、178cmの長身が目を引く田中さんは、2021年のミス・ユニバース®ジャパンのファイナリストだ。ミス・ユニバースは、1952年の開催以来、毎年各国の代表が世界一の栄冠を競う美的祭典。容姿の美しさに加え、知性や社会性、発信力といったスキルも求められる。まず、書類やビデオ面談、ウォーキング映像などが審査された後、30名までに絞られ、そこから約3ヶ月間、仲間と共に合同トレーニングやスピーチ練習など徹底的に自分を磨き上げる。そして、最終選考で選ばれた12名だけがファイナルの舞台に立つことが許されるのだ。もともと医薬系に興味を持っていた田中さんは、将来研究者になるのか、モデルになるのか迷う中、理科大へ進学。同じ頃、ウォーキングのレッスンにも通い始めたというが、今回のコンテストへの応募は、実は偶然。「コロナ禍で過ごす中、自分ができることは何かを考えて

いたとき、Instagramでコンテストの存在を知りました。調べてみると、表面的な美しさだけでなく、内面も重視され、世界で活躍する女性リーダーを世に送り出すことを目的とした大会であると知り、心を動かされました」と田中さん。エントリー後は、得意のウォーキングに加え、筋力トレーニング、ファッションやメイクアップの勉強、発信力を養うためのSNS投稿など



コンテストと学業との両立は大変だったと振り返る



ファイナル当日、TOP12の1人に選ばれた田中さん

### Voice!

何事もどれほど真剣に取り組むかで結果は変わります！とにかく全力を尽くす。やり抜く力が身に付いている理科大生なら、きっと、できると思います！



同じ目標に向かい互いを高めあった大切な仲間との出会いが何よりも嬉しかったという田中さん



ファイナル当日、TOP12の1人に選ばれた田中さん

さまざまなことに挑戦。また、以前はあまり考えていなかった社会情勢や環境問題、ボランティアについても積極的に考えるようになったと言い、エコバッグを常に持ち歩いたり、学内にあるボランティアのサークルに入ったりと、今も身近にある小さなことをコツコツと実践しているという。

2021年9月に行われたファイナルでは、自分を表現することがいかに素晴らしい大切かというメッセージとともに、世界でも少ない女性学者の重要性について発信。普段大学では、応用化学を学んでいる田中さんは、有機化学や光触媒、化粧品などにも興味津々。海外にも視野を向けているという。「将来的には、科学者であり、モデルでもあり、それぞれの立場から見た世界の社会問題などを広く発信できる、そんな女性になりたいです」。クールで美しい瞳の奥には、強い意志と深い思いやりが感じられた。



滅菌室で抗がん剤の検証実験を行う横井さん

## STUDENT LABO

#19

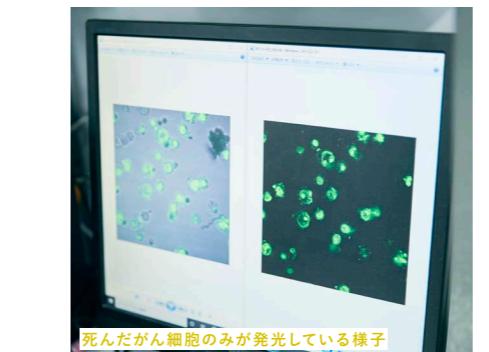
がんの細胞死を誘導し、発光による検出が可能な化合物を開発。抗がん剤のメカニズムに迫る。

薬学研究科 薬科学専攻 博士後期課程3年  
横井 健汰さん



抗がん剤になりうる化合物を合成

日本では、一生のうちで2人に1人が罹患するといわれる「がん」。医療の進歩や早期の発見により助かるケースも増える一方で、わが国のがんによる死者数は今なお増加傾向にあり、がんを治することはまだ容易とは言えない。そんな中、優れた治療や医薬品の開発に向け、本学でもあらゆる研究が行われている。現在、日本学術振興会の特別研究員でもある横井さんもその一人で、がんを治療する上で重要な「抗がん剤」に関する研究を進めている。抗がん剤は、その名の通り、悪性腫瘍の増殖を抑制・破壊・縮小することを目的とした薬剤のことだが、副作用が強いということでも知られている。横井さんは、抗がん剤をつくるところから、その薬がどのように作用し、がんや人体に



死んだがん細胞のみが発光している様子

どのような影響を与えるのかを評価するところまで、すべて1人で行っているという。研究の中で横井さんが開発したのは、特定の光を照射すると発光する化合物と、がん細胞に作用し、細胞死を誘導する性質をもつ化合物を組み合わせた新しい抗がん剤で、自滅したがん細胞をひと目で確認できるという。「通常、見た目では、活動しているがん細胞と死んだがん細胞は区別がしにくいのですが、私が合成した化合物は、抗がん剤によって死んだがん細胞だけが発光するため、明確に違いが分かります。抗がん剤の生体内挙動を追跡することは、抗がん剤の作用メカニズムを解明することになり、ゆくゆくは

### Voice!

何事にも興味を持って、自分なりの意見を持つことが大切だと思います。



TUS Journal 11

## 「TUSフォーラム2021」を開催

2021年12月4日(土)にTUSフォーラム2021「東京理科大学が拓くSDGs新時代—自然・人間・社会とこれらの調和的発展に向けて—」をオンラインで開催しました。創立140周年にあたる昨年は、これを記念して本学出身でノーベル生理学・医学賞受賞者である大村智博士に特別記念講演をいただき、その後、



TOPICS 04

## 学報(TUS Journal)読者アンケートのお願い

いつも「東京理科大学報 TUS Journal」をご愛読いただき、ありがとうございます。現在、学報に関するアンケートを実施しています。皆さまから頂戴したご意見は、今後の学報制作に生かしていくたいと思っております。より良い企画・誌面をお届けしていくために、アンケートへのご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

締め切り  
2022年2月28日(月)  
◀アンケート回答フォーム

訃報  
本学名誉教授および元山口東京理科大学 学長 土谷 敏雄 氏 2021年10月7日逝去されました。  
葛飾統括部葛飾学生支援課 主任 野口 祐美 氏 2021年10月18日逝去されました。

本学名誉教授および元理学部第二部教養学科教授 木塚 晴夫 氏 2021年11月25日逝去されました。

## 維持拡充資金(第二期) 寄付者芳名

【個人】	【金額】	【個人】	【金額】
同窓生>	△金60,000円	佐藤 友紀 様	△金25,000円
匿名1名	△金50,000円	平田 治夫 様	△金20,000円(累計金20,000円)
匿名1名	△金1,000,000円	春原 恵子 様	△金55,000円(累計金55,000円)
近藤 繁久 様	△金510,000円	渋谷 明彦 様	△金20,000円(累計金20,000円)
(累計金3,350,000円)	△金500,000円	高橋 豊 様	△金10,000円(累計金10,000円)
貢献者 充弘 様	△金2,600,000円	田谷 洋一郎 様	△金36,000円(累計金36,000円)
(累計金3,000,000円)	△金400,000円	高橋 昌之 様	△金20,000円(累計金20,000円)
植村 昭夫 様	△金100,000円	中村 修 様	△金18,000円(累計金18,000円)
(累計金900,000円)	△金60,000円	匿名1名	△金20,000円(累計金20,000円)
星野 清治 様	△金1,370,000円	鶴岡 秀樹 様	△金15,000円(累計金15,000円)
(累計金2,370,000円)	△金350,000円	成田 真彦 様	△金15,000円(累計金30,000円)
法澤 俊治 様	△金30,000円	岡田 一成 様	△金70,000円(累計金70,000円)
(累計金2,350,000円)	△金30,000円	大石 雄志 様	△金375,000円(累計金375,000円)
栗飯原 和彦 様	△金135,000円	平井 寛一 様	△金20,000円(累計金20,000円)
(累計金80,000円)	△金100,000円	原田 孝明 様	△金13,000円(累計金32,000円)
匿名1名	△金100,000円	藤原 秀夫 様	△金10,000円(累計金66,000円)
上田 己氏 様	△金130,000円	福原 清二 様	△金173,000円(累計金66,000円)
(累計金200,000円)	△金100,000円	三浦 拓夫 様	△金20,000円(累計金163,000円)
石井 達 様	△金90,000円	村田 隆信 様	△金20,000円(累計金183,000円)
(累計金1,000,000円)	△金60,000円	森 俊幸 様	△金10,000円(累計金193,000円)
永塚 博達 様	△金40,000円	柳井 幸男 様	△金10,000円(累計金110,000円)
(累計金400,000円)	△金30,000円	青山 哲也 様	△金10,000円(累計金120,000円)
並木 榮一 様	△金390,000円	大田 章 様	△金10,000円(累計金130,000円)
(累計金690,000円)	△金30,000円	柳川 昌徳 様	△金10,000円(累計金140,000円)
藤井 浩 様	△金180,000円	河合 登 様	△金20,000円(累計金150,000円)
(累計金710,000円)	△金30,000円	相本 亮 様	△金20,000円(累計金170,000円)
守屋 康 様	△金350,000円	久保 正典 様	△金7,000円(累計金20,000円)
(累計金710,000円)	△金30,000円	五十嵐 幹治 様	△金7,000円(累計金27,000円)
吉田 耕太郎 様	△金410,000円	匿名1名	△金25,000円(累計金52,000円)
(累計金200,000円)	△金200,000円	小林 茂雄 様	△金6,000円(累計金58,000円)
匿名4名	△金140,000円	兼田 好彦 様	△金6,000円(累計金64,000円)

## 新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルスに関する情報は、日々状況により変化するため、それに応じて大学も授業の実施などの対応方針を大学HPでお知らせいたします。定期的に最新情報をご確認ください。また、新型コロナウイルスに対する大学の取り組みについては、特設サイトでもご案内しております。こちらもご覧ください。



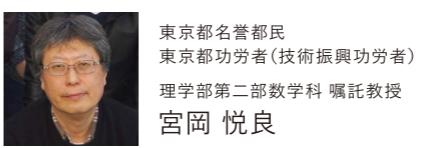
デジタルバックナンバー

東京理科大学報  
TUS Journal学報(TUS Journal)のバックナンバー  
は本学HPで公開しています。

寄付金のお申込みに  
インターネットをご  
ご利用いただけます。  
インターネットからのお申  
込みはこちから。



## 東京都功労者表彰受賞



東京都名誉都民  
東京都功労者(技術振興功労者)  
理学部第二部数学科嘱託教授  
宮岡 悅良

この度、令和3年度東京都功労者表彰(技術振興功労)を受賞したこと光栄に存じます。本学の教育・研究、特に夜間教育に多少なりとも貢献ができていたとしたら幸いに思います。本学の特長の一つである社会人などのリカレント教育が重要になってきており、ますますの充実・発展を望んでおります。

TOPICS 03

## TOPICS & INFORMATION

東京理科大学の最新ニュースと情報を届けします!

2022.WINTER

## 2022年1月1日から学長室の体制が新しくなりました



※業務執行体制については次号でお知らせします。

TOPICS 02

## 新学部長 就任の言葉(2021.10.1付就任)



理学部第一部 学部長 加藤 圭一

10月に理学部第一部学部長を拝命しました。理学部第一部は本学設立当初からある伝統の学部で、東京物理学講習所時代から数えますと2021年で140年になります。その間、「実力主義」の教育方針のもと数多くの有為な人材を社会へ送り出していました。そのような伝統の学部の学部長を担当することになり、身の引き締まる思いです。コロナ禍が収まった後には、旧来の教育方法を抜本的に変えた新しい時代の到来が予感されます。社会に貢献してきた伝統を守りつつ、新しい時代へ対応できる学部となるよう微力ながら全力を尽くしたいと思います。

先進工学部 学部長 田村 浩二

学部長を拝命し、身の引き締まる思いです。先進工学部では、前身の基礎工学部の良い伝統を引き継ぎながら、2023年度からの5学科体制に向けて、急速に変化する現代が抱える複合的な問題に対処すべく、分野連携や融合を進める教育と研究を行っています。コロナ禍で、当たり前に大学生活を送ることの難しさを痛感するとともに、コロナ禍の時代だからこそ、大学には学ぶ喜びや価値を生み出し続ける使命があると信じています。この想いを教職員の皆さんと共に守りつつ、新しい時代へ対応できる学部となるよう微力ながら全力を尽くしたいと考えています。

理学部第二部 学部長 長嶋 泰之

理学部第二部は、東京物理学講習所・東京物理学校からの伝統を引き継ぐ、本学で最も長い歴史を持つ学部です。夕刻から夜遅くまで、元気溌剌とした若い学生、理学を必要とする社会人、本格的なリカレント教育を受けようとする強い意欲を持った人たちが入り交じて学んでいます。他大学では見られない、世代を超えた学生同士が理学を学んで切磋琢磨する様子は、本学部の特徴の一つと言えます。学生たちが卒業後に大きく羽ばたいていくように、また教職員がプライドを持って教育・研究に取り組み大きな成果を上げられるように貢献したいと考えています。



# まだ誰も知らない 薬のありかを 教えちゃいます。

薬をつくることが目的ではなく  
病気を治すことが目的だから。  
人体のことも、病気のことも  
深く知ることが肝心。  
新しい薬はそこから生まれるのです。

薬のミライミック!



東京理科大学

( ミライミック! )

